

- 何でも言える●何でも書けるミニ雑誌〈あごらミニ〉
- 小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あごら〉
- あなたの声を待っています。みんなで作る〈あごら〉

# あごら

**MINI** 〈57号〉  
1982年1月10日発行 ¥100 千40

## 今月のなかみ

＜編集担当・あごら事務局＞

表紙のことは 刺さるつらら	1
募集 あごら10周年記念論文	1
82年度活動方針案決まる	2
北から南から 大成功の藤井恵美作陶展ほか	3
おめでとう 今年も共に生きよう 各拠点・事務局	4
日比谷野音に4000人の炎	6
たより アメリカの地方都市で過ごして	6
お知らせ 女のつどい・女の講座	8

## 刺さるつらら

斎藤千代

深い雪の向こうにつららが見えます。硬く長く重たげなつらら。

つららの下で遊ぶ子どもたちは無心です。その父親がもう決して帰ってこないことも知らずに……。

テレビの画面でみる夕張のつららは、私の胸に深く突き刺さりました。父を失った子どもたちの母はこれからどう生きるのだろう。子連れの母にどんな仕事があるのだろう。

同じ日、新聞の小さな記事。「私は今は子を産まない」——ポーランドの若い母の声でした。「産んでもミルクもおむつもありませんから」

暮れのつらい話は消し去るように、新春のテレビには華やいだ声があふれています。でも、同じ地表に、暗く重たい新年を迎えた女たちがいるかぎり、屠蘇はにがく感じられます。

事件があると浮き彫りになる日本やポーランドの女たちとちがって、事件など何一つなくても生きがたい女たちもたくさんいます。「今でも女は牛や馬

と同じように金で売られるのですよ」とコペンハーゲンのフォーラムで語ったギニアの人。「日本の女性解放運動の人たちが買春観光に反対しても、私たちに何の救いにもならない。アジアの女たちを搾取する経済の仕組みそのものを変え、協力してほしい」とつぶやくフィリピンの人。

身の周りを見わたすだけでもつらい話が多いのに、世界の女たちのことを思うと、心がなてしまいそうです。しなければならぬことの大きさの前に、する力は何と小さいのでしょうか。

会費が送り込まれた振替用紙を一枚一枚、ありがたくおしいいただきながら、一人ひとりのお金にこめられていく重みを感じます。どうかがんばって……と、ほとんどどれにも書かれていたけれど、ことし私たちはどんな「あごら」をつくり得るのでしょうか。ともかく、こめられた重みを精いっぱい受けとめて、ことしでもできるかぎりのことをするほかないと思うのです。

## 『あごら』創刊10周年記念論文募集!!

1972年2月創刊の『あごら』10周年を記念して下記のとおり記念論文を募集します。ふるって応募ください。

テーマ

「基本的人権としての女性解放」

女性差別は基本的人権の侵害であることを理論的に裏づけるもの。法律・経済・社会など、どの面からのアプローチでもかまいませんが、新鮮な視点を持ち、十分な説得力のある、筆者独自の「論」を期待します。

締切り 82年8月31日（消印有効）

枚数 四百字30枚前後（千字以内の概要をつけること）

選者 天野正子／大脇雅子／

\*久場禧子／高良留美子

\*駒尺喜美／中村智子

水田珠枝／山下智恵子

及びあごら／責任者

（\*印、交渉中）

送付先 〒160東京都新宿区新宿

1-9-6 あごら論文係

発表 『あごら』27号（82年12月刊）に掲載の予定

賞金 入選 10万円

佳作 3万円

# 雑誌『あごら』に拠る情報活動を軸に

## 反戦平和・差別撤廃を！

### 82年度活動方針案決まる

80年10月から再出発した新しい形の運営会議は、81年度中は5回の討論を重ね、組織論を中心に熱心な討議を続けました。81年度最終回（12月13日）、次のような結論を出し、10周年の大きなふしを迎えることにしました。

#### 1 組織論について

「この指とまれ方式」で、雑誌『あごら』の読者を中心に、何となくふくらんできた△あごら△は、それだけに、組織としてはあいまいな部分が多かったため、会員が八百人に成長した現在、明確な組織を指して、さまざまな角度から会の方を洗い直してきました。

論点の第一は、もともとBOC（創造力の銀行）から出発した△あごら△ではあるけれども、△あごら△がここまで成長した以上、△あごら△と△BOC△を組織として明確に分離したほうが良いという意見が出るようになった一方、△あごら△と△BOC△は、あくまでも親子夫婦にも似た関係にあるので、経済的には分離し、夫婦別産制をとりつつも、精神的には一層連帯を深めるべきだという意見も強く、どちらが会員にとってより望ましい組織になるかをめぐって、討議しました。二年間にわたる討議を経て、

採決した結果、「経済的には完全分離、人員や精神的な面では、より一層深く相互乗り入れし、連帯を深めること」を結論とし、この問題はむしろ返さないことにしました。

雑誌『あごら』を今日まで続刊できたのは、プロダクションBOCの経済的支援も大きな要因になっていましたが、今後は、BOCの経済的支援なしでも続刊できる体制を強化しなければならないと思います。

#### 2 82年度活動方針案

△あごら△の活動の軸は、雑誌『あごら』を中心とする情報活動であることは、80年末に確認されましたが、東京周辺の主な会員は雑誌づくりに追われ、集会、デモ等への参加は、地方拠点に比べると弱い感じを否めませんでした。そこで、情報活動は、集会、デモ等とも全く変わらないうち、基本的部分はいっそう尊重しつつも、運動体としての側面を強化することにし、次のような活動方針案を打ち出しました。

「雑誌『あごら』の発行を軸とする情報活動を推し進めるとともに、それに拠る運動体としての側面を強化する」

「82年度のメインテーマは、反戦平和と女性差別撤廃」

この具体的方法は、1月24日の82年度第一回運営会議で討議することになっていますが、ご意見のある方は、どしどしハガキでも手紙でもお寄せください。

#### 3 最終責任者の明確化

どの部門にも決して「長」は置かない△あごら△ですが、現実の機能として、組織のかねめのような部分を負っている人たちはいます。それを「責任者」として明確にしたほうが、組織の全体像が明確になるという考え方が一方、一種の「代表」になるのではないかという危惧もあります。この問題についても慎重に討論した結果、最終責任は運営会議が負うけれども、その中の一つの機能として最終責任者を置くことに決定、82年度は次の三人がその任を負うことになりました。

斎藤千代／高橋ますみ／福田光子

#### 4 事務局体制について

81年度は、谷内さんと長谷川さんが、BOC職員とともに暫定的に事務局を引き受けてくださいましたが、△あごら△

と△BOC△がより深い補完関係に立つという基本条件のもとで、事務局体制も自ずから変わることになります。81年度の反省に立ち、1月の運営会議で試案を検討します。ご意見のある方はご連絡を。

#### 5 10周年記念行事について

時間切れのため、記念論文についてのみ討論、第一面に発表のとおり決定しました。

#### 6 82年度本誌テーマ

26号は、25号「女と情報」を受けて、「知らせる権利」としての「女のミニコミ」（または「女とミニコミ」）を、また27号は、国際高齢者年にちなみ「女と老い」を取り上げます。記念論文は27号に掲載の予定ですが、優秀な論文が多数集まった場合には、別冊も考えられます。

#### 7 82年度「ミニ」担当

1月事務局／2月京王／3月北東京／4月東海／5月武蔵野／6月札幌／7・8合併旭川／9月浦和／10月九刺／11月京都／12月仙台／83年1月柏／2月大阪  
なお「ミニ」はユニークな拠点活動として重要ではあるけれど、もう少しレベルアップを……との要望もかなり強いようです。1月の運営会議で検討しますが、実際に「ミニ」を作っている立場の方、読者の皆さんのご意見も、ぜひ至急事務局までお知らせください。

お金の ある方 は お金を！

時間のある方 は 時間を！

国際危機がいよいよ深まる中、平等の基本である平和を守るために、私たちは何をすべきか、何ができるかを考え、雑誌『あごら』を通じての情報活動に一層心血を注ぎたいと思います。

形が不明確だった△あごら▽にも、少しずつ形ができてきましたが、既成の婦人団体とはちがった新しい組織のあり方を、みんなで考えていきましょう。今後とも恐らく多くの試行錯誤を重ねることになると思いますが、決して指導者や代表を置かなかった過去十年の実績を尊重しつつ、全員が責任と権限を分かち合える体制を一步ずつ着実に確立していききたいと思えます。

多くのミニコミが出ては消えるなかで『あごら』は幸運にも創刊満十年を迎えることができましたが、続刊は非常にきびしい状況です。お金の余裕のある方

は、△あごら▽基金でもカンパでも、ぜひぜひお願いしたいと思えますし、時間と力のある方は、その時間と力を頒ち与えてください。図書館に『あごら』を置く働きかけ、PTAや婦人学級で、『あごら』をテキストに使いながら婦人問題を学習するなど、地方の方でも、△あごら▽を支える活動はたくさんあります。

東京近辺の方は、おひまの折にでも（できれば事前に電話をして）事務局にお立ち寄りください。封筒の宛名印刷、図書の整理など、ネコの手も借りたい日常ですの……。なお、今年度から、従来休みでした土曜日も、せめて午後だけでも事務局と読書室をオープンしたいと考えています。事務局を手伝える方はお申し出ください。

（時給四五〇円、交通費込みの薄謝ですが）

## 伝言板

◆東海地方の△女の情報▽をお知らせください △東海BOCVでは、今度ある新聞の東海版△女の情報欄を受け持つことになりました。東海地域で行なわれる△女の催し物や活動についての情報、再就職の苦相談、△女の職域を拡げている人などを紹介ください。採用の分にはお礼をお送りします。送り先とお問い合わせは〒470001愛知県愛知郡東郷町和合ヶ丘1の12の9 伊藤汎美（05613119112386）または〒489瀬戸市東吉田町42の13 桜井京子（05611184113024）

◆二段ベッドおゆずりします 大人用、鉄パイプ製、マットレスつき、新品同様。5万8千円で購入の品、1万8千円で。（申し込み△あごら事務局▽斎藤まで。）

## 〈東海BOCV〉 エミ・フジイ作陶展で 活躍



女性の職域開拓を目指して苦闘を続けている△東海BOCVは、昨夏は「障害をもつ女性のためのファッション・ショー」を開いて、着やすい脱ぎやすい服装について問題提起し、大きな反響を呼びましたが、十二月には「藤井恵美作陶展」の企画と営業を担当し、好評を博し、財政的にも相当な成果をあげました。

80年のコペンハーゲン会議の折、スウェーデンを訪問した△あごら▽と名古屋視察団は、案内役の藤井恵美さんの女性解放運動にかける熱意に感動、その後高橋ますみさんたちと文通が続いていますが、「藤井さんの作品展を日本で」の企画が実を結び、名古屋でも藤井さんの個展を△あごら▽を主体に開くことができました。

瀬戸や常滑をひかえる名古屋は陶芸の本場。藤井さんの作品がどんなにすばらしくても、果たして売れるだろうかという不安が正直なところありましたが、△東海BOCVを中心とする△女の友情を、地元各紙も華々しく伝え、会場は押す押すの盛況、作品も飛ぶように売れ、出血を覚悟のうえで協賛した△東海BOCVも若干の資金ができました。

「△女の仕事を具体的に実現すること」をクリエティブに実践したい」という△東海BOCVは、今後もこうした方法で△女の力を社会に売り出す仕事をしたいと張り切っています。

こうした活動を通じ、大新聞社から、「△女の情報欄」を受け持つようという仕事も舞い込み、長い間の苦労がむくわれて、やっと少しずつ芽が出そうな状況になってきました。

## △あごら札幌▽の 連絡先が変わりました

連絡先が変わりました

△あごら札幌▽では独自の運営会議を開いて運営していますが、役割はなるべく持ち回りで分担する方針。82年度は次の運営委員で運営します。

- ・連絡先 細田英理子 222-5227
- ・本とめ役？ 安住てい子 702-8753
- ・本の管理 岡本ともみ 702-2857
- ・会計 細谷 陽子 823-0738
- ・名簿管理・通信発送 加我 博子 882-0584


（市外局番はいずれも011）



あけましておめでとうございます。

昨年は念願の映画会上映をはじ、  
私たちなりの成果をおさめました。  
年間テーマは昨年にひき続いて「旅情」、  
その法律面から考察していきます。  
なにはともあれ

今年も犬康に注意して  
がんばるワシ!



あごら浦和

あごら浦和

春 頌

永遠は今何処にいるのか  
何処へ行こうとしているのか  
新雪の中へ  
確かな一歩を...



あごら札幌 1982

あごら札幌

あけまして  
おめでとう。

あごら九州の昨年1年間は、  
「八七歳の青春」上映実行委員  
会への有志参加、如差別撤  
廃条約の学習会等、なかなか  
充実したものだと思います。  
これらを基礎に、一層の飛  
躍を!と望んでいます。  
'82.1.1. あごら九州一同。

あごら九州



あごら神奈川

あけまして おめでとう


小さな嵐が吹きわたった81年  
しっかり地固めして  
ますます おもしろくなりそうな  
82年の あごら武蔵野  
地域での一人一人の活動を大切に.....  
継続は力なり。

あごら武蔵野

あごら京王

あごら北東京

ただ今、  
あごら神奈川は  
休業中



何かやりたい人  
わたしの指にとまれ!

沼田千恵子

あけましておめでとう

あごら北東京 4年目、月1度の  
例会も延人数にすると、たくさん  
の人が参加しました。  
今年は例会の内容を、浮の町に  
はりまっています。  
いろいろな人がいて、いろいろなこと  
をやって、それが大きなうねりにな  
って、浮は果てしなくあごら北東  
京を今年も大切に抱擁します。  
あごら北東京

'82 おめでとうございます



あごら北東京 4年目、月1度の  
例会も延人数にすると、たくさん  
の人が参加しました。  
今年は例会の内容を、浮の町に  
はりまっています。  
いろいろな人がいて、いろいろなこと  
をやって、それが大きなうねりにな  
って、浮は果てしなくあごら北東  
京を今年も大切に抱擁します。  
あごら北東京

あけまして  
おめでとーございます

こちと戦争しを機に あごら東海も  
昨年戦争と平和の問題を考え  
てみました。  
厳しい状況が増すであろう今年  
女としての足元を見つめつつ、ま  
らに考へ学習してゆきたいと思っ  
ています

あごら東海

迎春'82



あごら京都

先さゆく女たちより、少し遅くではあ  
るけれど、彼女たちが決して口外するこ  
とのなかった努力や忍耐をおぼろげな  
らではあれ感じるこのとき今、私た  
ちも、もっと主体的にもっと積極的にその  
列に加わりたいと思っています。

あごら京都

迎春

あごら仙台、はじめてのお正月です。  
十二月の学習会の記録係さか  
「あごら」に参加して、自分の視点に自信がついて  
きたような感じは、くすくすかきと聞かれています。  
自信がつけば、おのずから確かな一歩が踏み出せ  
ると思います。六月には東北新幹線が営業業  
開始、速いことはいいことだとばかりに、さあさあ  
思いこみで、東北の春が始まるようにとします。  
今年もよろしくお願ひ致します。

一八八二二一  
あごら 仙台

あごら仙台

あけまして おめでとーございます。  
生まれたものの、さっぱり大きくならないあごら大阪。  
でも奥手なりのよきも あるのです。  
"速さ""強さ""大きさ"という物指を否定して。  
じっくり育ちたい。

1982.1.1  
あごら大阪。



あごら大阪

あごら編集部

おめでとー'82  
共に考え共に生きて  
ことしも静かな炎を  
燃やし続けましょう

あごら旭川

あごら柏

迎春

世界を覆う暗雲を吹き払い  
厚い差別の壁を打ち破るために  
ことしも精いっぱいのことをしたと  
心から笑って言える日を目ざして  
励みたいと願っています

一九八二年一月一日

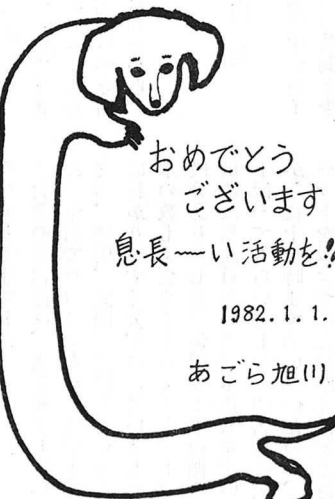
東京近郊新市街の隅の隅  
あごら編集部

おめでとー  
ございます

息長〜い活動を!

1982.1.1.

あごら旭川



今年からは、  
型どおりの運動ではなく、  
新しい力強い運動を  
やりたいです。女性解放  
は男性解放とあるという  
視点で物事を捉えよう。

世界が平和で  
ありまうように。  
一枚

今年もくじけず  
に頑張ります。  
(H.A.)

賀正  
1982

あごら 柏

男と女は  
いつまでい  
いこうなの  
R.O.

少くくんだおもちはつぶや  
しまふけれど、ふくらんだ夢は  
さらに大きくふくらませる  
させた。R.E.I.K.O.

「戦争への道」が  
ない女たち。が  
同じ女として  
男たちと通ずる  
年になろうと  
かんがえています。

今年も  
よろしく  
Seika

1982.1.1.

# 日比谷野音に4000人の女の炎

——12・6戦争への道を許さない女たちの会——

広い日比谷公園の一角、野外音楽堂のあたりからワーンといううなりのような音が聞こえる。その方角を指してどりのプラカードや風船を手に急ぐ女たち。80年12・7、81年5・2、8・15とつどう度に熱気がふくらんできた人戦争への道を許さない女たちの会V。遠く東北や北陸から駆けつけた人々も……。

経過報告に続いてまず吉岡しげ美さんのピアノ弾き語り。高良留美子さんがこの日のために作詞した「もう二度と」が会場に流れる。晶子の「君死に給うことなかれ」は、佐山真知子さん。参加した一人ひとりの思いがふくらむ幕明けた。そして壇上にズラリと並んだのは菅笠



にカスリのモンベの「忍草母の会」。「日米合同演習が来年行なわれようとしているが、これこそは戦争への道。女の力で阻止しよう」——天野事務局長さんの鋭い声。「富士を朝鮮・中東につなげない」の横断幕がいっばいに拡がる。戦争への道を阻止してきた女ならではの圧倒的な迫力だ。

フィリピンから、沖縄から、熱いメッセージが届いたのち、期待の「ベラウの人」が登場。「さすが。見るからにスゴイ」「女でもヒゲがあるのね」と、ささやかれた当人は、ローマン・ベドール

## アメリカの地方都市で過ごして

遠藤 由美

へあごらVの皆さん、新年おめでとう。一年半ぶりにアメリカからもどってきました。

ひと口にアメリカと言っても大変広くて、私が住んでいたのはカナダにほど近い中西部のノースダコタ州ファーゴという都市ですが、日本人が思い描く都市のイメージとはかなり違ってきます。人口は六万人、公共の交通機関はなし、歩道は幅が五メートルもあり二重の並木が続いていて、リスやウサギがはねまわっています。人々はゆったりと歩き、道で人に会えば「ハイ」「ハロー」と挨拶をかわし、町中が友達、といったふうです。

さんという男性。予定していた女性二人の出国が妨害されたと実情を訴え、「戦争を阻止する力は女こそ具体的に持つ」と、訴える大きな拍手。

ヨーロッパの反核運動の担い手、レオニー・カルデコットさんは、ほっそりと背の高い英国女性。「女性軽視は地球軽視、ここに戦争の源泉がある」と、フェミニストの視点で鮮明に打ち出す。二九歳の若さの中に深い思索と哲学を含んだことばは、強い感動を呼ぶ。ヨーロッパの反戦フェミニズム運動と日本のそれを結ぶ熱い連帯の拍手が繰り返される。「一人ひとりが個人の良心において平和の推進力となる」と、大会アピールを採択して長いデモの列は八重洲口へと向かった。女たちの熱気に包まれながら。

隣の町までは見渡す限りの畑の中のハイウェイを時速70kmで飛ばして一時間と少し。これで州最大の都市なのです。

日本の都会の真ん中で、窓が一方しかないコンクリートの箱に住んでいた私は、ふるさとを見つけたような気がして、たちまちこの町が好きになりました。

けれども、しばらくすると、これは困ったと思うようになりました。というのは出発前、アメリカはリブの国、女性学の本場だからどこへ行ったら、女の情報を手にできるだろうと勝手に想像していたのですが、そうではないことがわかつたからです。町中の本屋を全部まわって

たからです。町中の本屋を全部まわってみましたが、かの有名な雑誌『ミズ』すら置いていない店が半数くらいありました。地元新聞（アメリカには全国紙がありません）は前日結婚式をあげたカップルの紹介等の町の話題、ガレージセール、天候予報、アメリカの政治・経済記事少量とクーポン券がすべてでした。テレビも全国ネットは一日一回十分間のニュースだけでしたから、デンマークの世界婦人会議の様子等は送ってもらった『あごら』や友人の手紙で初めて知るようなありさまでした。

大学の図書館は、大変充実してました。索引でウィメンをひきますと、教育、文学、歴史、労働、法律……といった具合にわたりやすく分類されていましたし、本の数も索引カードにしてぎっしり箱三段分ありました。索引カードの棚のすぐ横には相談員がいて、本探しをずいぶん手伝ってもらいました。図書館は朝七時から夜十二時までであっていたので、カーペットを敷きつめた静かな部屋で毎晩女性学の本を読むことができました。

しかし、それだけではアメリカの生の女たちの運動を知る事ができません。第一、そうした本なら日本にいても読めます。こちらにないければ学べないことを学ぼう、そのためには実際の活動に参加しよう、と考えて全米規模のグループに問い合わせましたが、いずれもファージ付近に支部はないというものでした。確かに、返事と共に送られてきた機関紙に出てくる地名はカリフォルニアや東部の大都市ばかりでした。NOWだけは隣

## Bibliography of Women's Studies

内野久美子編著

明治の業績から最新の著作まで  
わが国女性研究の流れを一望する  
学生・研究者待望の文献案内。

●収録文献一五〇〇冊余解説・件名索引付

# 日本女性研究基礎文献目録

四六判上製函入184頁●定価1500円

赤松良子(国連公使)  
神田道子(東洋大助教授)  
樋口恵子(評論家)  
丸岡秀子(評論家)  
米川良子(都婦人情報センター)

学陽書房

東京都新宿区市谷薬王寺町26

Tel 03(341)9131(編集)

03(261)1111(営業)

振替東京7-84240

※内容見本ご希望の方は当社まで。



## 育ち合い

―保育をわたしたちの手に―

編集・婦人民主クラブ

パンフレット委員会

価 五五〇円  
千 二〇〇円

このパンフレットは婦人民主新聞  
一九七九年二月九日号から約二年間  
掲載してきたシリーズ「育ち合い」  
を集録し、なお保育の全体像をつか  
むために若干の補足・資料を加えた  
ものです。ここに見られるたくさん  
の実践は、多くの示唆を含むもので  
すが、産休明けや長時間保育論争に  
みられるように、特定の保育像を提  
出したものではなく、意見の隔りは  
隔りとしてそのままだに、今後、子供  
と共に育ち合う関係を模索する一つ  
の手がかりとなれば幸いです。

- I 保育所はいま
- II 産休明け保育と長時間保育
- III 保育労働者の労働実態
- IV 差別とたたかう保育
- V 男の子育て
- VI 諸外国の保育状況
- VII 保育行政
- VIII 資料編

送料一冊二〇〇円、二冊二五〇円、四  
冊まで三〇〇円、七冊まで三五〇円、  
十冊まで四〇〇円です。

●お申し込みは書記局へどうぞ。

婦人民主クラブ

東京都渋谷区神宮前三一三一八

電話 03 3402 3244

の町に支部があって、秋のオリエンテー  
ションにNOWの宣伝映画をやりました  
が、結局は人が集まらなかったのと世話  
役の個人的事情から、二回目以降は活動  
休止となってしまういました。

次に、「婦人問題の研究会や活動グル  
ープをご存じの方は教えて下さい」と大  
学の掲示板に出してみました。一週間後  
に見に行くと、その紙に魔女の絵が描か  
れていました。

その次は、大学の先生、友人、近所の  
人、スーパリーの店員等にかたっぱしから  
尋ねて歩きました。答えは「悪いけど、  
知らないわ」から、「あなたは、過激派?」  
「危険思想の持ち主なんだね」というも  
のまでさまざまでしたが、要するに誰も  
知らないのです。

こんなふうに、西海岸側からの情報  
がなかなか届かず、時代の波から取り残  
されたようなところでしたが、二つの点に  
は感心しました。一つは、制度的な面  
での男女平等が州政府主導ですめられて  
いること。高校の家庭科は男女とも自由  
選択とされていて、ある日知人宅を訪れ  
ると、息子さんが宿題とかで自分で縫っ  
たウェスタンシャツにボタンをつけてい

ました。教育の中の性差別をなくすため  
に、教師を対象としたワークショップが  
毎年開かれ、教材からジェスチャーに至  
るまで洗い直すように指導されていま  
す。また、政府と関係のある機関では、  
女性スタッフを一定の割合以上雇わなけ  
ればならない、とされています。

もう一つは、意外と女性が精神的に自  
立していることです。たとえば、夫婦で  
外出の時はいつも夫が車を運転することに  
疑問を持って、以来交替で運転することに  
している人。自分で「アンチ・フェミニ  
スト」だと言いながら、女だけがミス・  
ミスと配偶関係によって呼びわけられ  
ることに腹を立てていた人。夫との仲が  
あやしくなった後すぐに、資格をとって  
離婚に備えるためにアルバイトをしなが  
ら大学に入学した人等、完全な自立とは  
言えないまでも日常のどこかで性別役割  
分業に疑問を感じていて、個人的なレベ  
ルでは生活を変えようとしている女性が  
たくさんいると言っていると思います。

今、アメリカでは、ERAが成立するた  
めにはあと三つの州で批准されなければ  
ならないのに、82年6月までにその三つ  
がどうもとれそうもないという中で、女

性解放運動がゆきづまりを見せていま  
す。けれども、82年のERA成立は無理  
だとしても、今後、広大な大地に点在す  
る小さな町にも情報が届けられ、彼女た  
ちの意識に方向が与えられる時、文字ど  
おり全国的な運動として、もう一度大き  
な波となるにちがいないと思います。

### 〔編集後記〕

組織とは何なのか。△あごらVは組織  
になる必要があるのか……。

この二年間、組織をめぐってさまざま  
な討論が行なわれました。「運営会議」  
を中心にまとめた形が、はたして最適解  
なのか、疑問は残りますが、「かくある  
べき」というイデオロギー論争にエネル  
ギーを費消するよりは、組織論には一応  
の終止符を打って、反戦と差別撤廃の行  
動に全力を傾けることになりました。

何にしても、参加とは、本来、どこま  
でも自発的なものはずで、それは  
またコミットすることの責任を伴うもの  
であろうと思います。△会費Vを払い、  
参加する△私Vにとつて△あごらVは何  
なのか、そこで△私Vは何をするのか、  
共に考え、その考えを軸に、共に生きた  
いと思います。よい一年を!

(千)



## 〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
1月6日(水)	16:30~18:30	あごら京王・例会			調布市役所婦人教室 0424-88-5111
1月9日(土)	13:30~16:30	「教科書でいま男女平等はどう扱われているか」報告者 三井マリ子、村田泰彦、仲野暢子〈家庭科の男女共修をすすめる会〉			婦選会館 03-354-9014
10日(日)		あごら九州・例会			
11日(月)	18:00~	あごら旭川・例会「あごら合評会」			
	18:30~	行動を起こす女たちの会・世話人会		ジョキ 03-357-9565	
13日(水)	18:30~	あごら札幌・例会「結婚改姓について」		喫茶のあ 011-511-1377	
14日(木)	18:30~21:30	あごら編集会議・25号反省会・26号企画会議〈あごら事務局〉		あごら読書室 03-354-9014	
	18:30~	私たちの男女雇用平等法をつくる会・運営会議・新年会		ジョキ	
15日(金)	12:00~	あごら柏・例会		古賀宅 0471-45-6724	
	15:00~18:00	しん人の日パーティ〈行動を起こす女たちの会〉		吉武宅 03-302-8405	
21日(木)	18:30~21:00	あごら札幌・「靖国法案と戦争への道」連続講座		喫茶のあ 011-511-1377	
		※今、戦争を考える。第4回 講師 山口雅弘 カンパ 100円			
22日(金)	18:30~	あごら25号合評会・新年会〈あごら事務局〉		あごら読書室 03-354-9014	
23日(土)	19:00~	あごら武蔵野・例会「子供の教育を考える」講師 鈴木あき子		かわら版事務所 0423-94-2902	
	13:30~16:00	あごら仙台・例会		荒町市民福祉会館	
	13:30~17:00	「日本人の日常的なコミュニケーション」日本心理センター月例公開講座		コープオリンピック集会室 03-401-8062	
		講師 南博、坂田稔、竹山昭子、バーバラ・ハミル 会費 3,000円			
24日(日)		年間計画話し合い〈あごら京都〉			
	11:00~18:30	あごら運営会議〈あごら事務局〉		あごら読書室 03-354-9014	
	13:30~17:00	あごら浦和・例会		浦和コミュニティセンター	
26日(火)	18:30~	あごら北東京・例会		婦人協同法律事務所	
29日(金)	10:00~12:30	あごら東海・例会「東南アジア観光買春を考える」		名古屋婦人会館	
	19:00~	※マゼンダ、ライブコンサート 共演 ※SHOW 0488-64-7675 (藤田)		渋谷屋根裏	
30日(土)		あごら九州・例会			
31日(日)	13:30~17:00	男も女も育児時間を！〈育児連〉03-385-2293 (増野)		中野新井地域センター	
2月12日(金)	18:30~	総括・継続討論〈行動を起こす女たちの会〉		新宿文化センター 03-357-9565	
12日(金)~14日(日)		第13回全国ボランティア集会「いのち・人権 ボランティア」		東京代々木国立青少年センター	
		参加費 3,500円、宿泊費 4,000円 (2泊5食付)		事務局 03-469-0211	

バーバラ・J・ティラー著  
あごら翻訳グループ編

## 『遊んで育てる』

B 6 268頁 定1200

B O C 出版部刊

子どもの能力を伸ばすためには、まずその発達段階を知る  
のが大切。この本は、からだ・情緒・知能・社会性などの  
発達段階を解説しながら、発達に応じて遊ぶ方法を具体的  
に示したものです。〈あごら可能性教室〉英語水曜クラスの  
7人のお母さんたちの心温まる共同作業で本になりました。

## 各地のあごら連絡先

あごら旭川	旭川市神楽岡1条5丁目3 田代慶子 0166-6655 237
あごら札幌	札幌市西区琴似1条6丁目グランドハイツ琴似 408号 細田英理子 011-6644 2927 0663
あごら仙台	仙台市青山1-13-14 三船照子 022-222-9112 712 2982
あごら浦和	浦和市南浦和2-19-8 国井マツ江 044-888-7733 680 336
あごら柏	柏市豊四季台3-1-6 8 212 古賀節子 0471-445-6724 2277
あごら北東京	豊島区東池袋1-45-11 メゾン金子202 03-9855-3308 志賀由美子 03-9855-3308 志賀由美子
あごら武蔵野	小平市小川町1-7-6 丹羽雅代 042-344-3663 749 877
あごら京王	調布市仙川町3-12-32 福井浅子 03-3308-7871 182
あごら神奈川	川崎市多摩区東生田2-12-12 森山方沼田千恵子 044-9333-9079 214
あごら東海	愛知県愛知郡東郷町和合ヶ丘1-12-6 伊藤汎美 0561-3399-2238 47011
あごら京都	京都市左京区北白川久保田町36-4 塚崎美和子 075-7791-4623 606
あごら大阪	茨木市西駅前町10-3 遠藤由美 072-612-3349 567
あごら九州	福岡市西区笹丘2-4-6 小島豊子 092-521-7624 810